

ME PERSONAL MIXING SYSTEM

UNIVERSAL 40 CHANNEL MONITORING SYSTEM



ME 1

パーソナルミキサー



ユーザーガイド

Publication AP8997

■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

警告

- 水に入れたり、ぬらしたりしないでください。火災や感電の原因となります。
- 必ずAC100V(50Hz/60Hz)の電源または、PoE受電で使用してください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因となります。
- 必ず専用の電源コードを使用してください。これ以外のものを使用すると火災の原因となります。
- 付属の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因となります。電源コードが傷んだら(断線や芯線の露出など)、直ちに使用を中止し販売店に交換をご依頼ください。
- 水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因となります。
- 万一、落としたり筐体を破損した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電の原因となります。

注意

- 不安定な場所に設置しないでください。落下によるけがの原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。
 - ・直射日光の当たる場所
 - ・湿気の多い場所
 - ・温度の特に高い場所、または低い場所
 - ・ほこりの多い場所
 - ・振動の多い場所
- 機器をラックに設置する場合は、必ず専用のラックマウント金具を使用し、重量を支えるために全てのネジをしっかりと固定してください。落下すると、けがや器物を破損する原因となります。
- 配線は、電源コードを抜いてから説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 電源を入れる前に、音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となります。
- 機器の移動は、電源プラグをコンセントから抜き、他の機器との接続を全て外してから行ってください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となります。

■はじめに

このたびは本製品をご購入いただき、誠にありがとうございます。

まずこちらの取扱説明書をお読みいただき、性能をご理解いただいた上で用途に応じた最適な使用方法を追求してください。

保証について

- ・ 保証書は必ず「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」の記入をご確認いただき、製品とともにお受け取りください。お買い上げ日より1年間は保証期間です。保証書記載事項に基づき、無償修理等を保証させていただきます。修理等はお買い上げの販売店までご依頼ください。
- ・ お買い上げ時に「お買い上げ年月日」「お買い上げ店名/所在地」が正しく記入されていない場合は、保証書が無効になり、無償修理を受けられないことがあります。記載内容が不十分でしたら、速やかに販売店にお問い合わせください。
- ・ 改造など通常の使用範囲を超えた取扱いによる故障や、設計・製造以外の要因で起きた不都合は期間内であっても保証の対象外となります。

故障かな?と思われる症状が出たときには

こちらの取扱説明書をもう一度お読みになり、接続や操作などをご確認ください。それでも改善されないときはお買い上げの販売店までお問い合わせください。調整・修理いたします。

梱包内容

ME-1ミキサーの出荷時には、次のものが同梱されています。

ME-1パーソナルミキサー

本体



ME-1用電源アダプター

ユニバーサル電圧の電源アダプターです。運用する地域に適したアダプター用プラグを取り付けて使用してください。

マイクスタンドブラケット (製品名 : AB8999)

ミキサー底部には3/8"ネジの受けネジ山があり、マイクスタンドの上部に取り付けることができますが、マイクスタンドの側面に取り付けるためのブラケットも用意しています。



ヘッドホンハンガー (製品名 : AA8705)

マイクロホンスタンドに取り付けた状態で、ヘッドホンまたは、イヤピースを吊るすフックです。ミキサーの下面に押し込んで固定します。



マニュアルダウンロードのご案内

安全上のご注意

注意：リンク用のLANケーブルは同梱していません。運用する環境に適した長さのケーブルをご用意下さい。ケーブルの詳細については、本書「6.2 LANケーブル」の項で後述します。

ALLEN&HEATHでは、アクセサリ（別売）で下記LANケーブルも用意されています。

EtherCONコネクター付きLANケーブル

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル100m(ドラム式)

AH10886

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル80m(ドラム式)

AH10885

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル50m(ドラム式)

AH10884

ノイトリック製EtherConロック機構付CAT6ケーブル20m(ドラム式)



1. 目次

1. 目次.....	4	8. ME-1のセットアップ.....	18
2. はじめに	5	8.1 ミキサーからME-1にパッチする	
3. 初見.....	6	8.2 Setup (設定) モード.....	19
4. フロントパネル.....	7	8.3 表示部の輝度調整	
5. リアパネル.....	8	8.4 About (個体情報の表示)	
6. ME-1の設置.....	9	8.5 キーソースのアサイン	
6.1 機器の取り付け		8.6 オートネームとステレオリンク... ..	20
6.2 LANケーブル		8.7 Groupの設定.....	21
6.3 イーサネットPoEスイッチ		8.8 キーアサインのオートモード	
6.4 オーディオの接続.....	10	8.9 キーネームのアサイン.....	22
7. ME-1のオペレーティング.....	11	8.10 Key preset(キープリセット)モードのアサイン	
7.1 ミキサーの電源のON/OFF		8.11 Configuration(コンフィグ/構成情報) の扱い.....	23
7.2 Standby (スタンバイ)		8.12 ユニット名を変更する	24
7.3 操作モード		8.13 ローカルマイクのMuteオプショ ン	
7.4 Rotary (ロータリー) コントロール		8.14 ファームウェアのアップデート	
7.5 スクリーンセーバー.....	12	9. 参考.....	25
7.6 Home (ホーム) 画面		9.1 USBデバイスの扱い方	
7.7 Stereoメーター		9.2 ハードリセット	
7.8 Master Levelを調整する		9.3 自動で名前およびリンクをリセットする	
7.9 Local Mic (ローカルマイク) レベルの調整		9.4 仕様.....	26
7.10 ソースの選択.....	13		
7.11 Level (レベル) とPan (パン) の調整			
7.12すべてのレベルをトリミングする			
7.13 ソースまたは、MasterをMuteする	14		
7.14 Soloを使って検聴する			
7.15 Groupマスターのレベル調整			
7.16 Groupソースのレベル			
7.17 Master EQの調整.....	15		
7.18 ミックスのリミッター調整			
7.19 Preset (プリセット) Preset			
7.20 SelectキーからプリセットをRecall(呼び出し)する			
7.21 USBデバイスによるプリセットのRecall.....	16		
7.22 SelectキーにプリセットをStore (保存)する			
7.23 USBデバイスにプリセットをStore (保存)する			
7.24 プリセットを編集する			

2. はじめに



MEパーソナルミキシングシステムは、ミュージシャンを含む演者、プレゼンターが、舞台上、リハーサル・スタジオ、会議、ライブ・イベントのいずれにおいても、自分自身のモニター・サウンドをコントロールするための、柔軟で操作しやすいソリューションです。

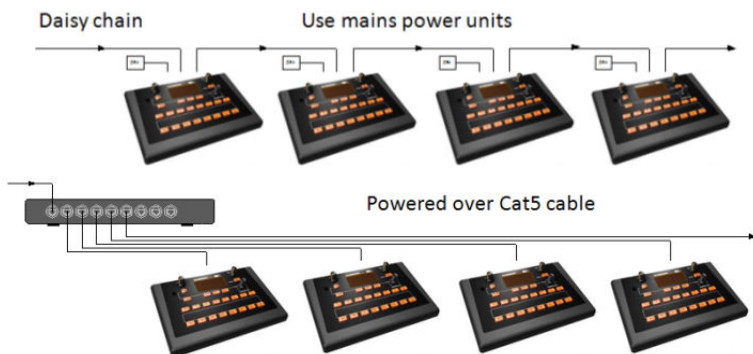
ME-1は、スタンドアロンタイプのデジタルパーソナルミキサーで、1本のLANケーブルで最大40chのソースをミキサーから受け取り、一般的に有線のヘッドホンイヤホン、インイヤーマニターやモニタースピーカーなどのシステム、振動装置の付いたドラム・スローンなどにステレオまたはモノラルで出力します。

パーソナルモニターは、演者が自分のモニターミックスを管理できるようにすることで、モニターエンジニアの有無に関わらず、全体のリソースを軽減します。

また、ME-1内の40チャンネルをグループ化し、各ミュージシャンのコントロールをシンプルにすることで、メインコンソールのバスを使い切る必要がなくなります。16個のSelectキーのうち、必要なだけ、または管理できる数だけアサインできます。

運用環境に基づいた設計

- ステージで邪魔にならないコンパクトでスマートな筐体
- 視認性の高いディスプレイ
- 暗所でも視認しやすいバックライト付きキーボタン
- 台置き、またはマイクスタンドへの取り付けなど、柔軟な設置方法
- マイクスタンドには、直接マウント可能
- マイクスタンドの側面を使用する場合に対応できるオプションのブラケットを標準で付属（同梱品）
- ヘッドホンハンガーも標準で付属（同梱品）



演者が操作しやすいインターフェース

- Selectキーを押すだけのチャンネル選択
- Rotaryコントロールを回すだけのレベル調整
- 押し回すだけのパン調整
- Shiftキーを押しながら回すだけで、すべてのレベルをトリミング
- 個々のチャンネルまたはマスターをミュート
- 個々のチャンネルのSolo（検聴）
- Group modeを使用してグループソースのバランスをとる
- MP3小型プレーヤーなど、ポータブルオーディオのソースを、各ME-1に追加で入力が可能
- 内蔵ローカルマイクを使用した一段上のステージサウンド
- 3バンドのマスターEQによるトーン調節
- 過大なピーク出力を防ぐリミッター
- プリセットのStore（保存）/Recall（呼び出し）
- 離席時に保護するためのStandby mode（スタンバイモード）

それぞれの演者に合わせたカスタマイズ

- コントロール範囲の設定
- Selectキーのアサイン、または意図した未使用のままの設定
- 16あるSelectキーのソース選択。
- なし、40チャンネルのいずれか、Aux In、グループなど
- マルチソースのコントロールのためのシンプルなグループの設定
- Store（保存）/Recall（呼び出し）またはRecallのみにプリセットをアサイン
- デフォルトのキー名を、そのまま使用するか、カスタムでキー名の設定をするか
- 各MEミキサーを識別するためのユニット名の設定
- Config（構成）に名前を付けてアーカイブする
- Config名を使用してユーザーを識別する
- USBデバイスによる、プリセットの転送
- USBデバイスからのファームウェアアップデート

便利な接続

- 任意の数のME-1ミキサーをデジーチェーン接続
- イーサネットスイッチを使用したパラレル接続
- 1本のLANケーブルで音声と名前を伝送
- MEに対応するALLEN&HEATHミキサーへの直接接続
- Aviom® A-Net16への直接接続
- オプションカードを装着したME-Uハブ使用時は、サードパーティーのデジタルネットワークにも接続可能（48kHz、DANTEまたはMADIに対応）
- 電源アダプターを使わず、LANケーブルを介したPoE給電が可能
- ツアーリンググレードの10ポート「ME-U」PoEスイッチハブを用意（別売）

3. 初見

最初に、このユーザー・ガイドを一読することをおすすめします。ただし、すぐに使い始める必要がある場合は、次の手順に従ってください。

梱包内容を確認してください！

前述の「梱包内容」のページと照らし合わせて確認してください。「安全上の注意」を必ずお読みください。

ME-1ミキサーの電源を入れます。電源アダプターに適切な電源プラグを取り付けます。プラグを差し込んで電源を入れます。

ME-1をさわってみる

ME-1をミキシングシステムに接続せずにテストできます。

電源投入後の**ホーム**画面には、現在のコンフィグ名が表示されます。

ME-1は工場出荷時の設定「ME」がロードされた状態で出荷されます。

DEMO プリセットを呼び出すには、Recall キーを押しながらSelectキー1を押します。もう一度 Selectキー1を押して確認します。キーを放します。

ME-1の操作方法を体感してください。

- 画面上に名前を表示させる
- Rotaryコントロールを回してレベルを調整します。
- Rotaryコントロールを、押して回してパンを調整します。
- Selectキー1とGroupキーを押します。
- Masterを押してEQとリミッターを見つけます。

音声を聞く

すべてのレベルコントロールをオフ（しぼり切り）にします。

MP3/ポータブルオーディオなどを背面のAux 入力に接続し、ヘッドホンも接続しておいてください。ゆっくりとローカルマイクの音量を上げてアンビエント（周囲の音）を聞いてください。

Selectキー9を押して、接続したプレーヤーで曲などを再生し、Masterレベルもゆっくり上げていきます。

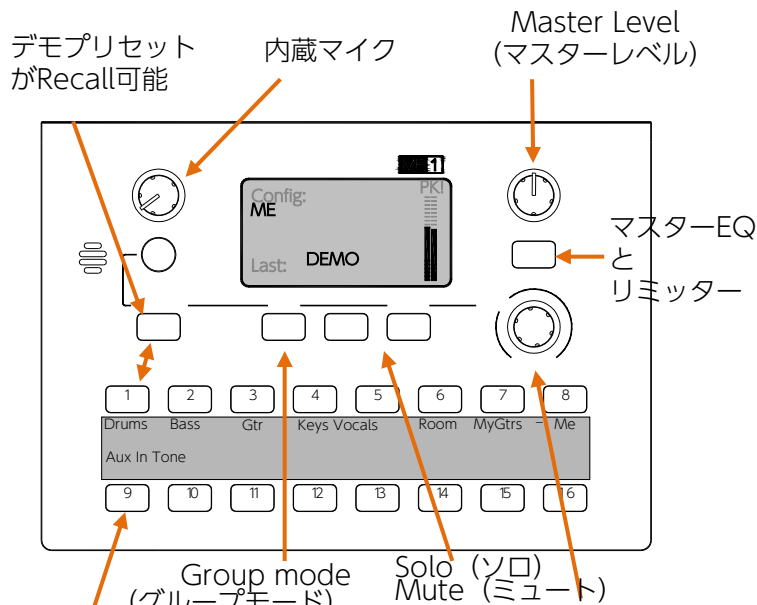
ヘッドホンで曲が聞こえ、メーターも動作しているのが確認できるはずです。

Selectキー10を押してテストトーンを追加します。

コントロールを試してみましょう。:

- 音声を聞く
- Muteの操作
- Soloを押したまま（プレス&ホールド）単一のソースを検聴します

このガイドの残りの部分を読んでください。



背面のAux Inに接続したMP3/ポータブルオーディオの音を聞く時はキー9。

Rotary：押す機能もあるロータリーノブ

MEの工場出荷時のConfig（コンフィグ）

Config（構成）にはすべてのME-1の設定とプリセットが保存され、USBメモリデバイスを通じて転送できます。

「ME」のConfig（構成）は、ME-1の出荷時にプリロードされており、独自のセットアップを構成するためのスタートポイントとしてALLEN&HEATHのWebサイトからダウンロードすることもできます。

- すべてのキーをAuto Modeに設定します（リンクされている最初に見つかった利用可能なチャンネルを、単一のキーにアサインされたステレオチャンネルとしてアサインします）。
- デフォルトに設定された名前（LANケーブル経由で受信したチャンネル番号または名前）
- すべてのSelectキーでプリセットのStore（保存）/Recall（呼び出し）が有効

4つのプリセットが設定されています。

Preset1 **DEMO**

バンドのリードシンガーが扱う想定:

- キー1～5 = バンドの他のパート
- キー6 = 周囲の環境音(観客)
- キー7と8 = 自身のボーカルと楽器
- キー9 = 背面AUX入力(MP3/ポータブルオーディオなどの入力)
- キー10 = 1kHz 正弦波(テストトーン)
- キー11～16 = アサインされていません

Preset2 **AUTO**

すべてのキーがAuto modeに設定されており、スタートポイント用に便利です。

Preset3 **1TO16**

チャンネル1～16にアサインされたキー。Aviom® 16チャンネルモードで作業するときに簡単に開始できます。

Preset4 **CLEAR**

すべてのSelectキーがアサインされていないため、空白のスタートポイントからセットアップします。

4. フロントパネル

Local Mic (ローカルマイク) : モテージ上の音を追加し、他のメンバーや周囲の声を聞くための内蔵マイク。近づいて話しかけてくるメンバーがいてもマスターレベルのコントロールと別に独立したレベルコンイロールを持っています。マイクを無効にすることも可能です。

ディスプレイ: 選択した項目を表示するイルミネーション・スクリーン。名前、レベル、パン、ステレオシグナルメーター。マスターEQとリミッター、Config (構成) およびプリセット情報とセットアップメニューにも使用されます。

Master Level (マスターレベル) : ミックスレベル全体を調整します。内蔵ローカルマイクのレベルには影響しません。

Master Key (マスターキー) : マスターのEQとリミッターにアクセスします。セットアップ中にメニューを終了するためにも使用されます。



Shift キー : shiftキーを押したまま次の操作を行います。

- Recall = Store (保存) モードに入る
- Group = Setup (設定) メニューに入る
- Mute = Standby (スタンバイ) に入る/終了します
- Rotary = すべてのレベルのトリム

Recallキー : Selectキーを押したままRecallキーを押してプリセットをリコール (呼び出し) します。USBメモリーから直接プリセットを呼び出すこともできます。

Preset Store (プリセットの保存) モード : 現在のキーのアサイン、名前、グループメンバーをプリセットとしてSelectキーに保存するか、USBデバイスに直接保存します。

Groupキー : 選択範囲がグループされている場合に点灯します。押すとGroupモードに入り、グループ内のメンバーのレベルとパンが調整できます。Setupメニューの終了時にも使用します。

Solo (ソロ) キー : 押すとSoloモードに入り、現在の選択した内容だけ検聴できます。メーターには、選択したソースのレベルが表示されます。押した間だけソロになるモーメンタリー動作です。

Muteキー : 押すと選択範囲がミュートされます。ミュート時は赤色に点灯します。

Selectキー : 16個のキーのいずれかを押して、アサインされたソースを調整します。速い点滅は、その選択がミュートされていることを示します。最大16個のプリセットのStore & Recallにも使用されます。

Rotary (ロータリー) : 回してレベルを調整し、ロータリーを押して回すとパンが調整できます。Shiftキーを押しながら回すと、すべての選択しているレベルがトリムされるか、Groupモードの場合はグループメンバーがトリムされます。Setupメニューのスクロールと入力にも使用されます。

5. リアパネル

Phones : 3.5mmミニジャックと標準1/4 インチ TRSフォーンのスtereoジャックで、2つのヘッドホンまたはイヤホン、またはワイヤレス・インイヤーマニターシステムの送信器など、ラインレベル機器に接続できます。出力にはミックス信号とローカルマイク信号が含まれます。

●Phones出力は、並列の出力です、個々のレベル調整はできません。

Tip=L, Ring=R

Mono Out : バランス型のフォーンジャックで、パワードスピーカーや振動ユニットの付いたドラム・スローンなどのモノラルラインアウト機器に接続します。

出力は、LRミックスのモノラルサミングです、**ローカルマイク信号は含まれません。**

Tip=Hot, Ring=Cold

Aux In : MP3/ポータブルオーディオや、クリック・トラックなどのステレオ・ラインソースをローカルで接続するための3.5mmミニジャックです。Aux Inは、Selectキーの1つにアサインすることができます。どのキーにもアサインされていない場合、その信号はオフになります。

Tip=L, Ring=R



設置部分 : 平らな場所で使用できるゴム足。

マイクスタンドに直接取付る : ミキサー本体の底部には、3/8インチネジの受けネジ側の穴があり、マイクスタンドに直接取り付けができます。

マイクスタンドの側面を利用する : ME-1にはマイクスタンドなどの側面に取り付けられるブラケットを標準で付属しています。3/8インチの底部のネジ穴を使用して固定します。

パネルマウント : ミキサー本体の周囲のプラスチック部分裏側の固定用ネジ穴を使用して設置できます。



ヘッドホンハンガー

Link In : 信号入力のLANケーブルを接続するためのラッチロック付きEtherConコネクタ。

dLive (MEモニターポー)、SQ (S-LINK)、Qu (dSNAKE)、などMEに対応するALLEN&HEATHミキサーへ直接接続、またはME-Uハブに接続している場合は、40chのオーディオを受信します、Aviom® A-Net16に接続している場合は、16chのオーディオを受信します。

名前やステレオリンクの情報も受信可能。

MEミキサーは、PoE (802.3af Type1) スイッチハブやME-Uを使用してLANケーブル接続されている場合、電源アダプターを使用せずLANケーブル経由で電力を供給できます。

Link Out : ミキサーをデジタルチェーン接続するときに、LANケーブルを接続して次のME-1にオーディオを供給するためのラッチロック付きEtherConコネクタ。

注意 : **Link OutはPoE電力を送りません。** デジタルチェーン接続されたミキサーには、付属の電源アダプターを使用して電力を供給してください。

DC In : 外部電源アダプターの入力端子です。ME-1付属の電源アダプターを接続するとミキサーに電源を供給できます。

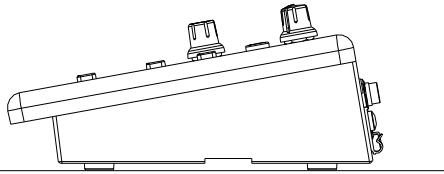
注意 : 付属している電源アダプターのみを使用してください。または、ミキサーがPoE (802.3af Type1) スイッチハブまたは、ME-Uハブに接続されている場合、Link Inに接続されたLANケーブル経由で電力が供給できます。

USBポート : ME-1ミキサー間のデータの移動や、PCにデータの保存をする際に使用します。

ME-1のファームウェアのアップデートにも使用します。1台の設定をスタートポイントとして、その設定を他のミキサーにコピーすることで、多くのME-1ミキサーをすばやくセットアップできます。

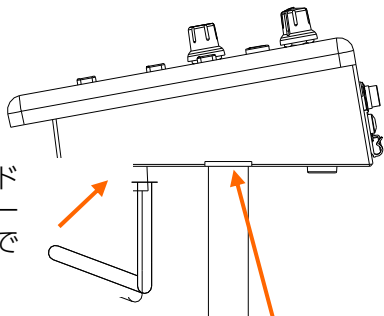
6. ME-1の設置

6.1 機器の取り付け



台置き：滑り止めのゴム足

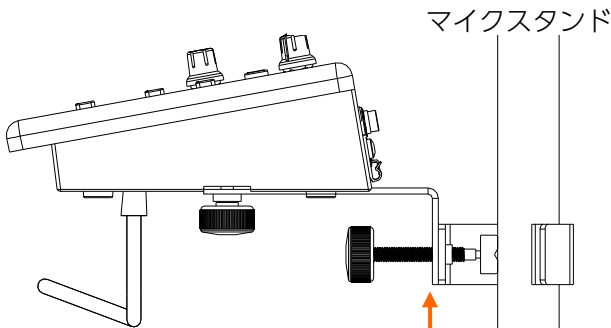
注意：高温の機器の近くに置かないでください。



同梱のヘッドホンハンガーを押し込んで取り付けます。

マイクスタンドに直接マウント：3/8インチねじで固定

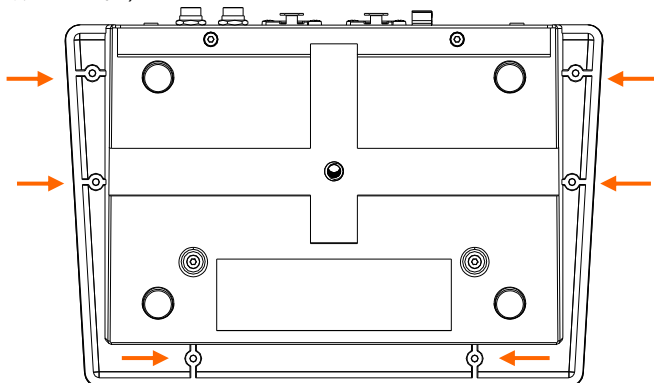
注意：必ずマイクスタンドが安定していることを確認してください。



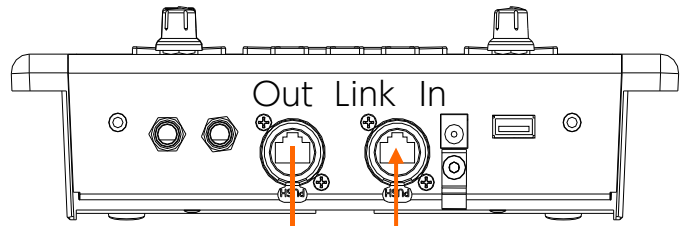
スタンド側面にマウント：同梱のブラケットを使用。

演台など、パネルにマウント：6Bネジ用の穴で軽く固定できます。

●6Bネジ：M3～3.5相当のタッピングネジ（M3.5やタップタイトを使用する場合は割れないようご注意ください。）



6.2 LANケーブル



次のMEミキサーへ（ダイジーチェーンの場合）

コンソール、ME-Uまたは、PoEスイッチハブから

接続は、STP/FTP CAT5e以上のシールド・ツイストペアLANケーブルをご使用ください。フォイルシールドと編組シールドを両方備えたケーブルは干渉に強く、概して丈夫です。芯線が「より線」のケーブルは、ねじったり、繰り返して巻いても、比較的損傷しにくい構造です。

ME-1は、接続の保護と信頼性を確保するために、NEUTRIK社製イーサコンレセプタクル（ロック付）を採用しています。ケーブル側にもNEUTRIK社製NE8MX6タイプが取り付けられたケーブルの使用をおすすめします。

最大ケーブル長、100m以内（ケーブル性能、環境による）。

安定した動作のために、ケーブル長は、長くしない事をおすすめします。



6.3 イーサネットPoEスイッチ

複数のME-1ミキサーをパラレル接続（スター接続）する場合、10ポートのAllen&Heath ME-Uハブを使用すると便利です。

または、市販の標準的なPoEイーサネットスイッチを使用することもできます。

注意：Aviom®A-Net16と互換運用する場合は、次の点にご注意ください。

一般的なPoEイーサネットスイッチと互換性がありません。100Mbit/s(Fast Ethernet)をサポートするレイヤー2・アンマネージドスイッチ、または、ギガビットスイッチが適しています。

注意：レイヤー3または4プロトコルのPoEスイッチハブは推奨されていません。

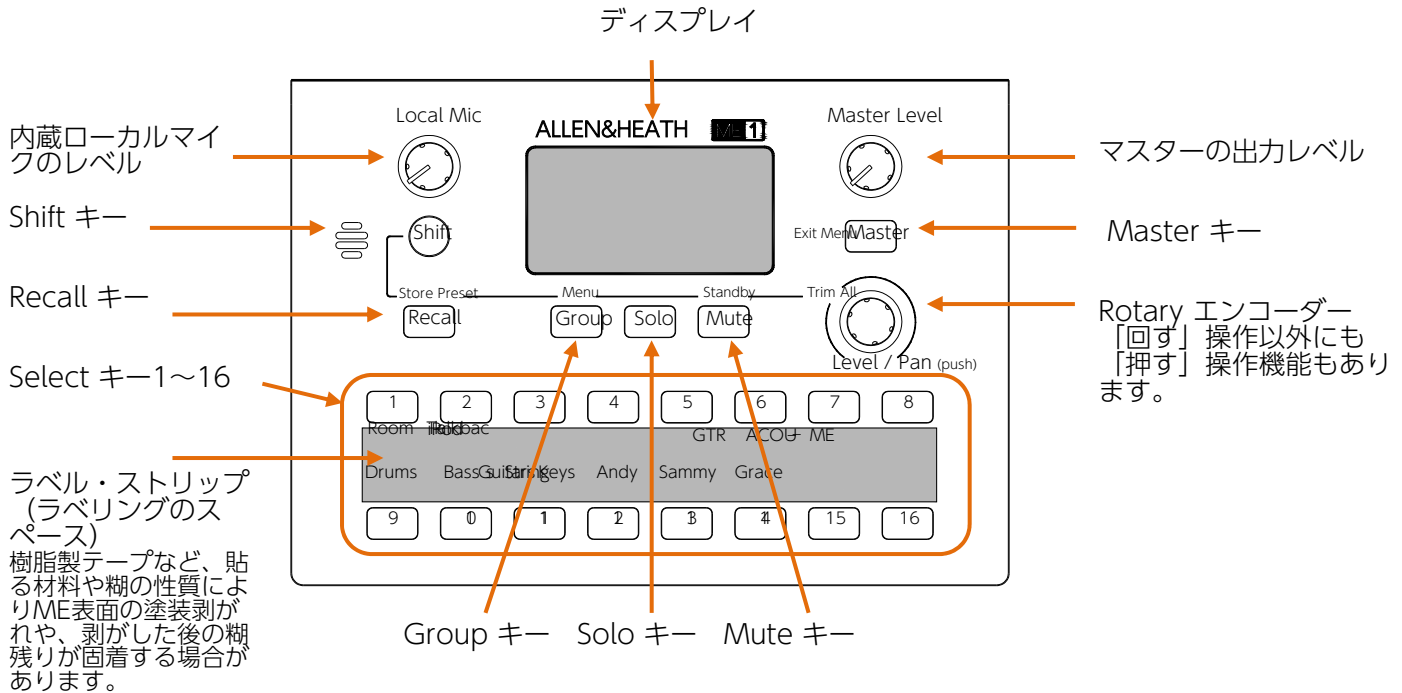
クリックノイズや中断が発生する可能性があります。

PoE (Power over Ethernet) を使用する場合は、802.3af (15.4W) または、802.at (25.5W) のいずれかが適しています。

接続するすべてのME-1、各ミキサーに十分な15.4Wの電力供給ができるか確認してください。



7. ME-1のオペレーティング



7.1 ミキサーの電源のON/OFF

MEミキサーの電源をONにする：付属の電源アダプターをDC Inソケットに挿し込むか、PoEスイッチハブまたは、ME-UハブからのLANケーブルをLink Inソケットに接続します。

ホーム画面が表示され、キーが点灯して暗い環境でも見えるようになります。

ME-1は前回の設定が復元され、すべてのキーがオフになってNormal (ノーマル) モードで起動します。注

意：MEミキサーをPoEスイッチハブ/ME-Uハブ経由でダイジーチェーン接続で運用している場合、1台目のMEミキサー以降は、給電しません。

(MEミキサーのLink outソケットからのPoEの供給はできません。)

MEミキサーの電源をOFFにする：電源アダプターのDCケーブルを抜くか、PoEを使用している場合はLink InのLANケーブルを抜きます。

注意：ダイジーチェーン接続されている場合、電源を切ると、その機体以降のミキサーへのオーディオ接続もオフになります。

7.2 Standby (スタンバイ)

ME-1ミキサーから離れる際は、電源をOFFにせず、Standby (スタンバイ) モードを使用してください。これにより設定がロックされ、オーディオがミュートされます。

ディスプレイには、スクロール表示する「Config:名称」が表示され、ミキサーを識別します。

Standby (スタンバイ) モードの操作方法：

実行するには、Shiftキーを押しながらMuteキーを押してください。終了するには、再び両方のキーを押してください。この操作は必ず覚えてください。

7.3 操作モード

Normal (ノーマル) モード：レベル、パン、ミュートにアクセスするには、Selectキーを押します。ミックスのEQとリミッターにアクセスするには、Masterキーを押します。

Group (グループ) モード：Groupキーが点滅している間は、グループが選択されている状態です。グループのメンバーのレベルとパンの各項目をスクロールして調整します。

Solo (ソロ/検聴) モード：Soloキーが点滅、または押されていると、ミックス内の個々のソースを検聴することができます。

Recall (リコール/呼び出す) モード：Recallキーを押し続けます。ミキサーに保存されたプリセットまたは、USBキーから現在の設定を上書きします。

Store (ストア/保存) モード：Shift+Recallを押して、現在の設定をプリセットまたはUSBに保存します。

Setup (セットアップ) モード：Shift+Groupを押して、ディマー及び、各情報とSetup画面にアクセスします。

Standby (スタンバイ) モード：Shift+MUTEを押して、設定をロックし、オーディオをMUTEします。モード終了は、同じ操作をしてください。

7.4 Rotary (ロータリー) コントロール

Turn (回す)：レベル、EQのゲイン、リミッターを調整したり、メニューをスクロールします。値が画面に表示されます。

Press and turn (押して回す)：パンやEQの周波数を調整します。

Press Shift and turn (Shiftを押しながら回す)：すべてのソースのレベルまたは、グループ内のすべてのレベルの微調整をします。

Press (押す)：グループ内のメンバーを選択したり、メニューオプションを選択する操作に使用します。

7.5 スクリーンセーバー

10分以上操作がなかった場合、ディスプレイには、スクロール表示する「Config:名称」が表示されます。音声には影響しません。任意のコントロールを操作することで、その機能にすぐにアクセスできます。機能を変更せずに終了するには、Shiftキーを押してください。

7.6 Home (ホーム) 画面

ミキサーはHome画面で起動します。



ミキサーまたはユーザーを識別するために「Config:名称」を表示します。セッション中に最後に呼び出されたプリセットの名前を表示しますが、電源を入れた直後やRecallされたプリセットがない場合は空白となります。

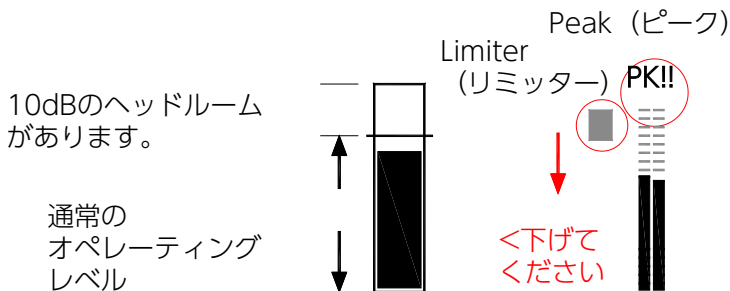
7.7 Stereoメーター

Master Levelコントロールの前の信号（プリ・レベル）を表示します。Normalモードは、ミックスレベルを表示します。Soloモードでは、選択したソースのレベルを表示します。

「PK!」表示は、クリッピングの3dB手前で点灯し、過大気味の信号を、さらに上げると歪む可能性があることを警告します。「L」表示は、リミッターが動作している場合に点灯します。

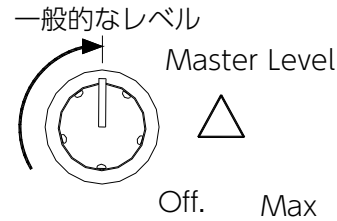
最適なメーターの読み取り方:

最も大きな瞬間で「PK!」または「L」が点灯しないように、レベルを調整してください。もし「PK!」または「L」が点滅する場合、ソースのレベルを下げるか、トリムオール機能を使用してすべてのレベルを同時に下げてください。



7.8 Master Levelを調整する

Master Levelコントロールを回して、出力音量を調整します。これはプリセットとは独立して適用される全体のコントロールです。ミックスのレベルに影響を与えますが、ローカルのマイクレベルには影響しません。メーター表示は、プリ・レベルなので、このコントロールには影響されません。



Master LevelをOffの位置の最小にしてからスタートしてください。7.7項の「最適なメーター読み取り方」の方法でソースを調整し、その後、快適なリスニングレベルになるようにノブを回して上げます。

大抵の場合、設定は中間位置（12時の位置）くらいです。



注意

長時間の大きい音量での使用は、聴覚障害のリスクがあるため、避けてください。

7.9 Local Mic (ローカルマイク) レベルの調整

Local Micのコントロールを上げると、内蔵マイクからのステージ上のアンビエンス音をヘッドホンやインイヤモニターに追加することができます。また、一緒に演奏する他のミュージシャンが話しかけてきた場合も聞くことができます。ローカルマイクのレベルはプリセットから独立しています、またマスターレベルには影響されず、メーターにも表示されません。内蔵マイクの信号はステレオ出力のみに送られます。



ローカルマイクのレベルは最小（Offの位置）にしてスタートしてください。誰かが話しかけてきたときだけ、必要に応じて上げるか、そのままにします。

注意:

フィードバックを避けるために、ヘッドフォンを内蔵マイクの近くに置かないでください。

注意:

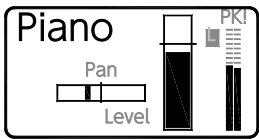
ローカルマイクはステージ上の音のためのものであり、観客の雰囲気を追加したり、LANケーブルのリンクを使った他のミュージシャンとコミュニケーションを取るためのインカム的なツールではありません。

注意:

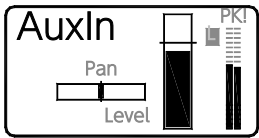
音が聞こえない場合は、ローカルマイクがSetupページで、無効 (Mute) の設定になっている可能性があります。

7.10 ソースの選択

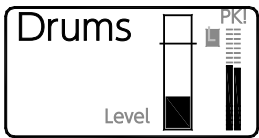
Selectキーを押してください。アサインされている方法によっては、以下の画面が表示される場合があります。



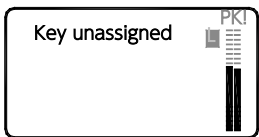
チャンネルソース：
LANケーブルからの40入力のうちの一つです。レベルとパンが利用可能です。



AUX入力：
背面パネルのステレオAUXソケットからの入力です。レベルとバランスが利用可能です。



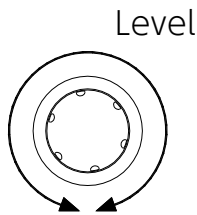
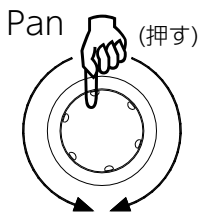
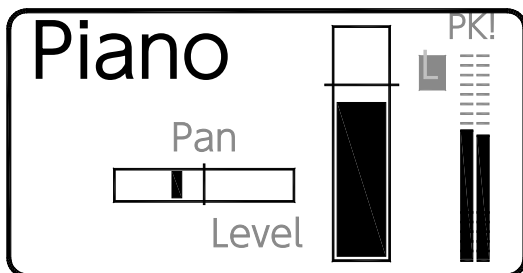
Group：
複数のチャンネルが、そのグループメンバーとしてアサインされたキーです。Group masterレベルが利用可能です。



Unassigned (アンアサイン)：
キーには、アサインされたソースがありません。

7.11 Level(レベル)とPan(パン)の調整

ソースを選択します。

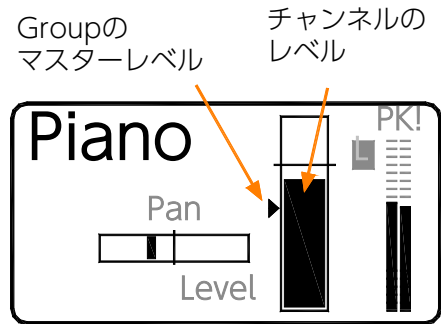


Level (レベル)：安全に調整するために、ノミナル「0」から完全にoffまでRotaryコントロールを回してほってください。ヘッドルームとして使用可能な+10dBのゲインがあります。

Pan (パン)：ロータリーコントロールを、押して回してください。パンは、モノラル音源では、LとRの間で定位させ、ステレオ音源では、LとRのバランスを調整します。

注意：Groupにパンは使用できません。ただし、グループ内の各メンバーのパンは調整できます。チャンネルがSelectキーにアサインされ、かつGroupのメンバーである場合、レベルバーの横の三角ポインターは現在のGroupのMasterレベルを表示します。

チャンネルのSelectキーのレベルとグループ内のメンバーのレベルは同じです。

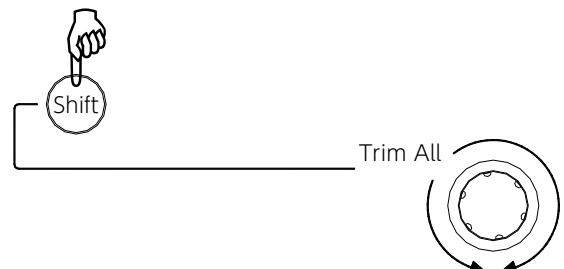


注意：

チャンネルの音量を上げてても音が聞こえない場合は、関連するグループマスターが上げられているかどうかを確認してください。

7.12 すべてのレベルをトリミングする

Shift キーを押しながらRotaryコントロールを回すと、同時にすべてのレベルを上下にトリミングできます。



「PK!」または「L」が点滅する場合に、Trim Allを使用して過大気味なレベルのミックスを下げたり、メーター読みで、低レベル気味のミックスのレベルを上げたり、すべてのレベルをオフにしたりします。

Normalモードでは、Trim AllはすべてのSelectレベルを調整します。Groupマスターのみを調整し、ソースメンバーは調整しません。

Groupモードでは、Trim Allは選択したグループ内のメンバーのレベルを調整します。

注意：

最もレベルの高いソースが最大に達するか、最もレベルの低いソースが最小に達すると、ミックスのバランスが変化します。

ソース間の相対的なバランスを保持したい場合は、Trim Allを注意深く使用して、細かく調整を行います。

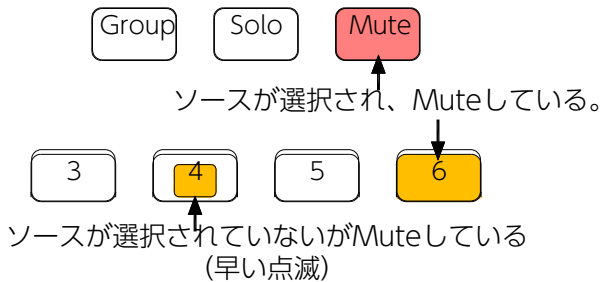
すべてのレベルをオフにするためにTrim Allを使用する方法：

最もレベルの高い設定を持つソースを選択します。Shiftキーを押しながら、Rotaryコントロールを反時計回りに数回回してすべてのレベルをオフまで下げてください。

この方法で、ミックス全体または特定のグループを、リセットしたようにすることができます。

7.13 ソースまたはMasterをMuteする

Selectキーまたは、Masterキーを押してください。選択したオーディオをオンまたはオフにするには、Muteキーを押します。ソースがMuteされている時は、キーが赤く点灯します。ソースがMuteされているが選択されていない場合、そのソースのSelectキーは点滅してMuteしていることを知らせます。

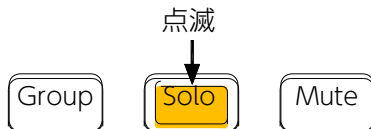


注意：

ソースをMuteにすると、操作した、そのME-1でのみMuteされます。これはシステム内にある、他のME-1ミキサーでは、Muteされません。例えばギターを差し替えて接続する場合など、ノイズを避けるべき状況があったとします。一般的には、音響エンジニアがミキシングコンソールで、そのチャンネルをMuteし、すべてのMEミキサーの出力に影響を与えないようにします。

7.14 Soloを使って検聴する

ソースを選択します。



ラッチSoloモード：

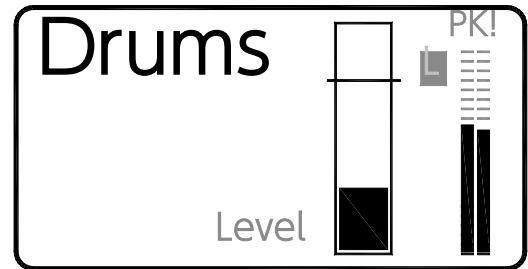
Soloキーを押して離してください。Soloモードでは、Soloキーがゆったり点滅します。選択したキー以外のオーディオは、Muteされます。そのキーのミックスへの影響を聴くことができ、マスターレベルを確認することができます。他のSelectキーを押すと、異なるソースを検聴できます。検聴作業が終わったら、再びSelectキーまたはSoloキーを押してNormalモードに戻ってください。

モーメンタリーSoloモード：

Soloキーを押して、そのまま押し続けてください。キーが点滅を停止し、点灯したままになると、モーメンタリーモードになります。検聴が終わったら、押したままのキーを離してください。

7.15 Groupマスターのレベル調整

Groupレベルを調整してください。ソースを選択します。もしGroupにアサインされている場合、Groupキーが点灯し、そのマスターレベルの画面が表示されます。



Rotaryコントロールを回してノミナル「0」から完全にオフまで、または、+10dBゲインまで、Groupのマスターレベルを調整してください。

注意：

ソースメンバーを聴くには、Groupのマスターレベルを上げる必要があります。

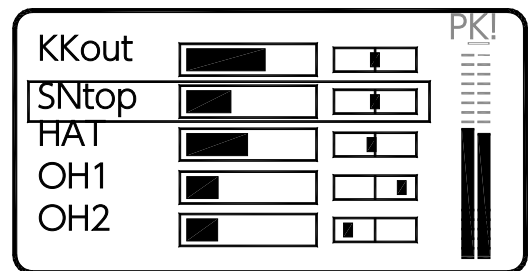
7.16 Groupソースのレベル調整

グループメンバーのレベルとパンを調整します。Groupキーを押して、グループを選択した状態で、Groupモードに入ってください。

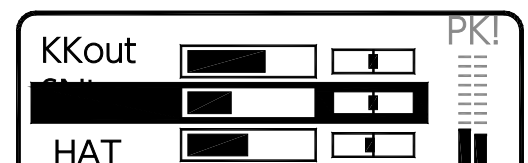
点滅



Groupキーが点滅し、グループのメンバーとしてアサインされたソースのリストが表示されます。



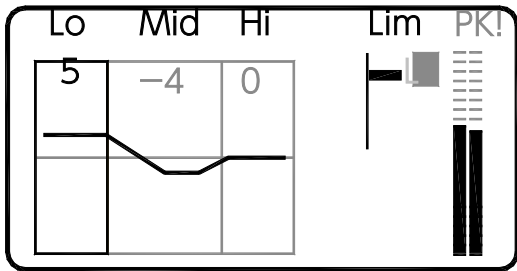
メンバーを選択するには、Rotaryコントロールを回し、調整したいメンバーに合わせて、Rotaryコントロールを押すと選択できます。



Rotaryを回してメンバーのレベル調整をしてください。Rotaryを押しながら回すと、パンが調整できます。Groupキーを押して終了です。

7.17 Master EQの調整

Masterキーを押してください。ミックスマスターの3バンドEQのカーブとリミッター設定が表示されます。



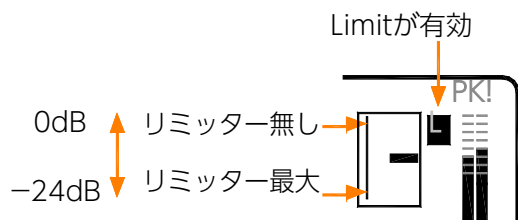
Rotaryを回して、調整したいEQバンドにスクロールすると、強調表示します、それを押すと選択されます。カットまたはブーストの量を調整するには、Rotaryを回します。直線表示は、フラットなレスポンスを示しています。Midバンドが選択されている場合、Rotaryを押して回すと、中心周波数がスイープします。

EQを使用する場合：

EQはフラットな状態から始めてください。極端なカットやブーストは、おすすめしません。

7.18 ミックスのリミッター調整

Masterキーを押してください。Rotaryを回して「Lim」を強調表示します、設定をするにはRotaryを押してください。上部にポインタがある状態で、0dB（リミッター無し）から下部の-24dB（リミッターの最大値）まで、リミッティングが始まるポイントをRotaryを回して調整してください。



Limit (リミッター) の使用方法：

ヘッドフォンの普段使っている音量位置にMaster Levelを設定し、リミッターをスケールの最上段（リミッター無し）から始めます。本番中に予想される最大信号とメーターの読み取り値、例えば最も大きなボーカルのピーク値などの信号で、Rotaryを上げ、リミッターの「L」が点滅し始めるまで回してください。

注意：

リミッターはミックスにおける予期せぬ大音量を防ぐことができます。

Master Levelコントロールは、使用しているヘッドフォンやイヤークラスのタイプと感度に合わせて全体の音量を調整します

7.19 Preset (プリセット)

MEは最大16プリセットを使用できます。管理するシステムエンジニアの都合に合わせて、各Selectキーにプリセットモードをアサインすることができ、「Store (保存)」と「Recall (呼び出し)」または「Recallのみ」という設定が可能です。プリセットはUSBデバイスにStore (保存) 及び Recall (呼び出し) が可能で、ME-1ミキサー間でデータ移動させることもできます。

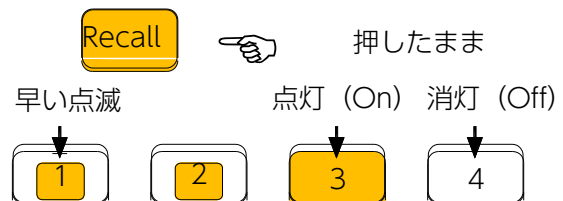
プリセットには、以下の機能がStore(保存)できます：

- Selectキーの設定、ソースや名前
- Groupメンバー
- 入力のLevel、PAN、Mute

プリセットには、以下の設定は保存しません。Selectキーのプリセットモード、マスターEQ、リミッター、ソロ設定、ローカルマイク、マスターレベル。

7.20 Selectキーからプリセットを Recall (呼び出し) する

Recall キーを押し続けます。点灯するキーを選択すると、プリセットのステータスが表示されます。

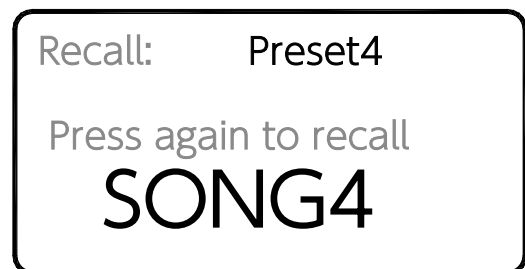


消灯 (Off)：ブランク状態（プリセットが入っていない）

点灯 (On)：最後にRecallされたプリセット。現在のセッティングです。

早い点滅：Recall (呼び出し) 可能なプリセットがあります。

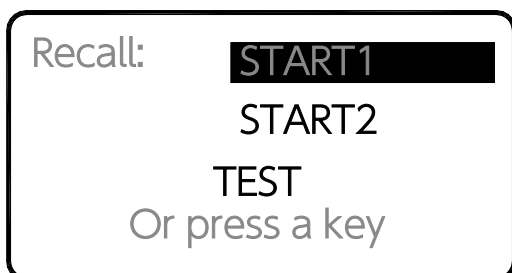
Recallキーを押しながら、Selectキーを押してください。画面には、呼び出せるプリセット番号と名前が表示されます。キーが点滅して、呼び出しの準備ができていることを示します。



Selectキーを再度押して実行してください。設定がプリセットの内容に上書きされます。Recallキーを離すと終了します。

7.21 USBデバイスによるプリセットのRecall

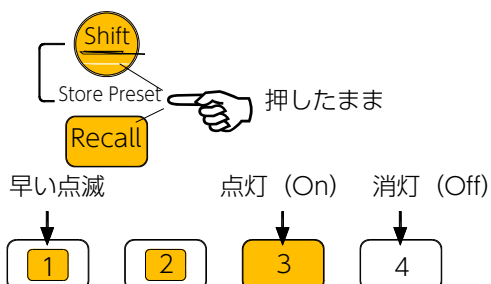
Recallキーを押してください。USBデバイスが接続されている場合、デバイスに保存されているプリセットの一覧が表示されます。



Recallを押したまま、Rotaryを回すとプリセットを強調表示してスクロールします。選択したいプリセットに合わせてからRotaryを押してください。再度押して呼び出されているかを確認してください。Recallキーを離すと終了します

7.22 SelectキーにプリセットをStore(保存)する

Shiftキーを押しながらRecallキーを押すと、Store (保存) モードに入ります。プリセットの状態を表示するために、Selectキーを選択してライトを点灯させます。



消灯 (Off) : キーは設定またはRecallできるブランク状態です。

点灯 (On) : 最後にStore (保存) されたプリセット。

早い点滅 : Store (保存) 可能なプリセット。

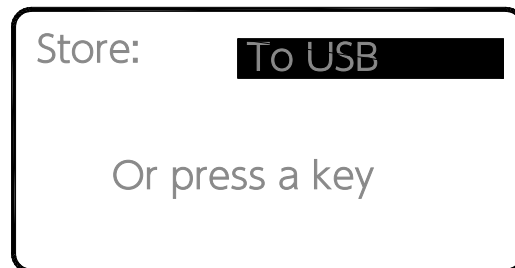
Selectキーを押してください。画面には使用可能なプリセット番号と名前が表示されます。キーが点滅して、Store (保存) の準備ができていることを示します。



「Press again to store」の表示通り、キーをもう一度押して、プリセットを上書きしてください。保存が完了すると、ME-1は、Storeモードを終了します。

7.23 USBデバイスにプリセットをStore(保存)する

Shiftキーを押しながらRecallキーを押すと、Store (保存) モードに入ります。USBデバイスが接続されている場合、画面上で「To USB」が強調表示されます。



Rotaryコントロールを押してUSBデバイスを選択してください。Rotaryをもう一度押すと、表示されている名前でのプリセットをUSBデバイスにStore (保存) します。プリセットをUSBデバイスに保存する前に名前を変更したい場合は、「Edit Name」の項目を選択してください。

注意 :

名前が空白の場合、プリセットはデフォルトの「PRESET」という名前でのUSBデバイスに保存されます。保存が完了すると、ME-1は、Storeモードを終了します。

7.24 プリセットを編集する

Storeモード中に、編集したいプリセットに対してSelectキーを押してください。

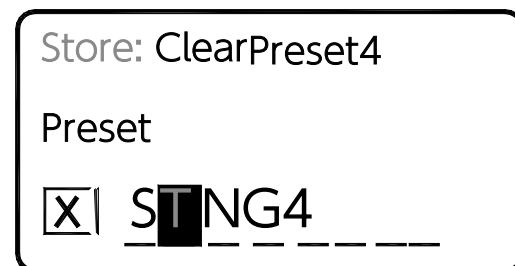
Rotaryコントロールを押してEdit (編集) 画面を開きます、編集可能な内容は以下の通りです。

- 名前は最大8文字まで
- Clear name. 名前のクリア
- Clear preset. プリセットの内容と名前をクリア

プリセットに名前を付ける :

Rotaryコントロールを使用して編集する文字をスクロールします。再度押して選択し、文字をスクロールします。

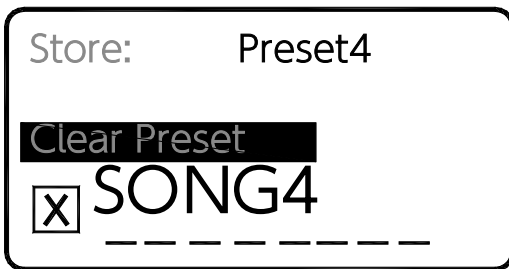
更に押すと別の文字にスクロールします。



プリセットの名前に使用できる文字は以下の通りです : 0~9, A~Z, スペース (空白)

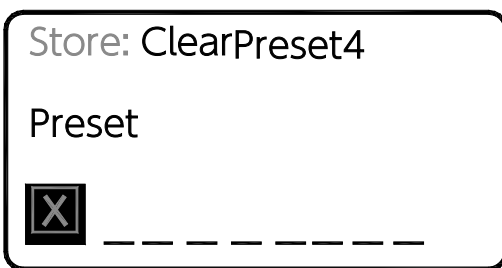
Clear Preset (プリセットの名前をクリアする) :

✖マークまでスクロールしてください。Rotaryコントロールを押すと、すべての文字をクリアします。



Clear Preset (プリセットの内容と名前をクリアする) :

「Clear Preset」までスクロールし、エンコーダーを押してください。



プリセットをクリアすると、その内容が消去され、名前は空白 (名前なし) にリセットされます。クリアされたプリセットをRecallしようとする時、「Preset is blank」というメッセージが表示されます。

注意 :

誤って設定が上書きされることを防ぐため、必要のないプリセットをクリアしておくことを推奨します。

Editメニューを終了する :

Store画面に戻るためにMasterキーを押してください。Shiftキーを押しながらRecallキーを押すとStoreモードが終了します。

8. ME-1のセットアップ

システムエンジニアは、使用する演者に合わせた設定をお願いします。

USBデバイス：

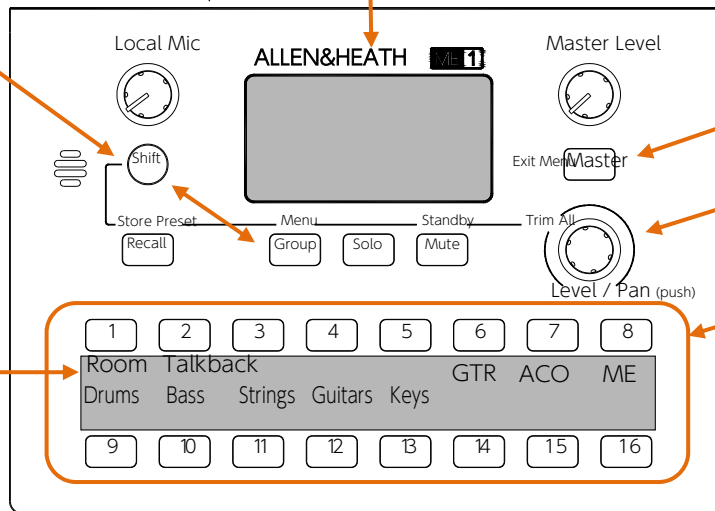
- プリセットの移動や設定のエクスポート/インポート
- ファームウェアのアップデート



ミキサーの出力をパッチする。ステレオリンクするチャンネルに名前を付ける。

Shiftキーを押しながらGroupキーを押すと、Setup (設定)メニューに入ります。設定を終了するには、再度Groupキーを押します。

ラベル・ストリップ (ユーザーによるラベリングのスペース)



Menuの操作：

前に戻る

選択または値をスクロールします。押すと選択されるタイプのロータリーエンコーダーです。

キーをアサインするには、以下のボタンを押してください。

- Source
- Name
- Presetモード

※テープなど、貼る材料によりME表面の塗装剥がれや、剥がした後の糊残りが固着する場合があります。

8.1 ミキサーからME-1にパッチする

接続されたソースによっては、最大16または40チャンネルまでパッチできます。機種やソースにより、ステレオリンクの設定やチャンネル名の送信も可能です。

例:

入力チャンネル :一般的に、Post-EQ、Pre-Comp、Pre-Fader、Post-Muteのポイントで設定されたダイレクトアウトを使用します。

Link :奇数/偶数チャンネルをステレオペアとしてアサインします。

Group :ミキシングコンソールでソースを組み合わせる場合、モノまたはステレオのグループバスを使用します。

AUX :AUXバスは、ミキシングコンソールで独立したバランスを作成するためのモノまたはステレオのオーディオバスです。

メインミックスの出力:FOHミックスからのマスター出力です。

FOHエフェクト:メインミックスのエフェクト・リターンをステレオグループ経由で合わせて、演者に送信します。

Myエフェクト:例えば、リードボーカリストのためのリバーブなど、一人のミュージシャン専用のエフェクトをミキシングコンソールで設定します。チャンネルダイレ

クトアウトまたはステレオグループを経由してリターンします。

アンビエント・マイク:周囲のアンビエンスを収録し、ステレオペアのチャンネルダイレクトアウトを設定します。

トークバック:ミュージシャンとのコミュニケーションには、モノのオーディオバスまたは、空きチャンネルのダイレクトアウトを使用します。

ALLEN&HEATH MEパーソナルミキサー対応のミキサー製品の出力パッチ方法について：

各機種のリファレンスガイドをご参照ください。dLive,AVANTIS,SQ,Qu,の各製品の日本語リファレンスガイドは、ヒビノインターサウンド(株)ホームページよりダウンロードが可能です。
<https://www.hibino-intersound.co.jp/download/>

ME-Uハブ (48kHz) を経由する場合：

ME-Uユーザーガイド及び、接続するミキシングコンソールのリファレンスガイドやマニュアルをご参照ください。最大40チャンネル + ステレオリンク + 名前の編集が可能です。ステレオリンクと名前の編集のためのPC接続が必要となる場合もあります。カードオプション (別売) は、Dante及びMADIが用意されています。

8.2 Setup (設定) モード

Shiftキーを押したまま、Groupキーを押すと、Setupのメニューに入ります。

```
Dimmer
About Key
Setup
System Setup
Press Group to exit
```

Rotaryコントロールを使用して、表示リストをスクロールし、メニューアイテムを押して選択します。前の画面に戻るにはMasterキーを押します。Normalモードに戻るにはGroupキーを押します。

8.3 表示部の輝度調整

Dimmer (ディマー) メニューにスクロールします

```
Dimmer
About
Key Setup System
Setup Press Group
to exit
```

設定は2段階です。Rotaryを押すと、明るさが切り替わりま
す。ディマーは、ディスプレイとキーの明る
に反映します。

8.4 About (個体情報の表示)

Aboutを選択します。

```
Config: MATT
Unit: MM4
Firmware: V1.00r9057
Mac: 00:04:C4:00:73:3A
```

この画面では、その機体のME-1に関する情報を表示します。

- Config : 現在のConfig名 (設定名)
- Unit : 現在のユニット名 (ミキサーの名前)
- Firmware : 現在のファームウェアバージョン
- Mac : MACアドレス (工場出荷時にプログラムされたもの)

8.5 キーソースのアサイン

16のSelectキーの各オーディオソースは、自由にアサインすることができ、使い方や目的に合わせて設定することができます。

Key SetupのSourceを選択してください。

```
Source: Unassigned
Name:
Members
: Preset: StoreRecall
```

使用可能なソースの一覧が表示されます。Rotaryコントロールを使用してスクロールし、選択したいソースのところでRotaryを押してください。

```
Source:  Unassigned
 Group Aux
 Input Auto
 Mode
 1kHz Sine
```

Unassigned (アサイン無し) : キーはどのオーディオソースも選択しません。キーを使用しないか、プリセット専用として使用する場合に選択してください。

Group : キーをグループのマスターとして設定し、そのメンバーとしてアサインされたすべてのチャンネルの全体レベルに影響を与えるようにします。例えば、「Drum」や「Vocal」のGroupです。

AUX Input : ミキサーの背面にあるステレオライン入力の選択です。

Auto Mode (自動モード) : アサインされていない利用可能なチャンネルを、自動的に順にアサインします。

1kHz Sine (1kHz正弦波) : ME-1の出力に接続された機器のテストとレベル設定に使用するための1k Hz

Channels 1-40 : 最大40のチャンネルを、接続したLANケーブル経由で受信し、Selectキーに個々のソースをアサインします。

注意 :

ステレオチャンネルは、接続されたソース (A&H対応ミキサー、ME-U、Aviom®など) からステレオリンクデータが受信された場合、単一のキーにアサインされます。

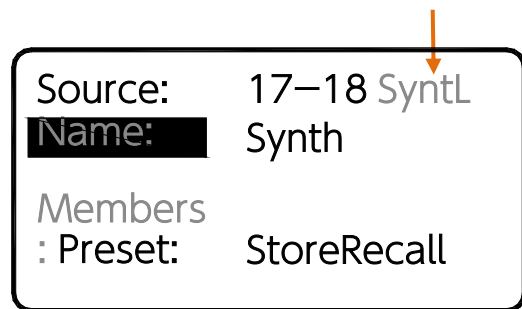
注意 :

接続されたソース (A&H対応ミキサー、ME-U) からチャンネル名が受信された場合、ソースリストにはチャンネル名が表示されます。

8.6 オートネームとステレオリンク

Name :

チャンネル名は、元のソースから生成されます。LANケーブル経由で送信され、ME-1ミキサーで検出されると使用できます。



Source: 17-18 SyntL
Name: Synth
Members
: Preset: StoreRecall

ME-1は、受信した名前をKey Setup画面に表示します。これはデフォルトの名前として使用されます。また、ME-1ミキサーは任意で名前を作成して保存することもできます。

以下、表示される内容の参考例です。

ミキシングコンソールのチャンネル名：ソースから名前のデータが取得可能な場合、ME-1はこれをデフォルトとして表示します。

IP5またはAux2など表示：ソースに名前が設定されていない、または、リセットされている場合、ME-1はチャンネルのタイプと番号を表示します。

Unused : チャンネルにソースがアサインされていない場合、「未使用」を意味するこのラベルを表示します。

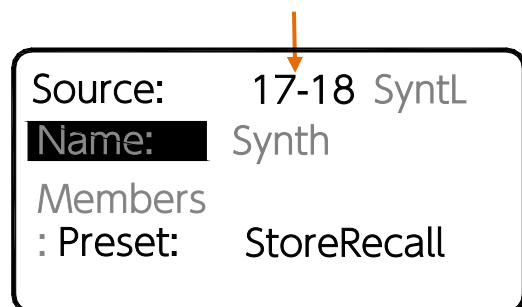
5などの番号表示： オートネームが利用できない場合、代わりにチャンネル番号などが表示されます。

ステレオリンク：

奇数/偶数のチャンネルは、LANケーブルでME-1に送られる前に、ソースでステレオペアとしてリンクすることができます。

これにより、ステレオリンクされたペアを単一のキーにアサインすることができます。

ステレオペアの場合、パンはバランスコントロールとなり、左右の信号レベルの相対的な調整が可能です。



Source: 17-18 SyntL
Name: Synth
Members
: Preset: StoreRecall

リンクされたペアの場合、Key AssignとGroupメンバーのリストには奇数（左）チャンネルのみが表示されます

ステレオリンクされたチャンネルの例：

ステレオ出力のシンセやキーボード類、エフェクトリターン、オーディエンス側のアンビエンスマイクなどのステレオソースをリンクします。

オートネームとステレオリンクは、以下のソースから利用できます。

MEシリーズに対応したA&HミキシングコンソールとI/Oエキスパンダー、ME-U。

Aviom® A-Net 16は、ステレオリンクのみ。

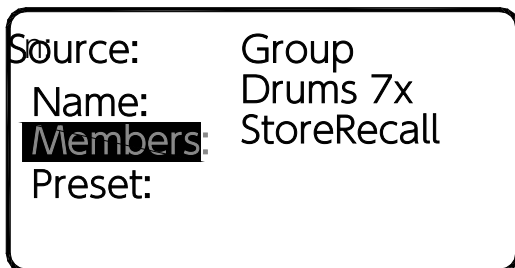
注意： Aviom®ハブを介して接続する場合、LANケーブルを介した電力供給（PoE）は利用できません。ME-1ミキサーに付属の電源ユニットを使用してください。

8.7 Groupの設定

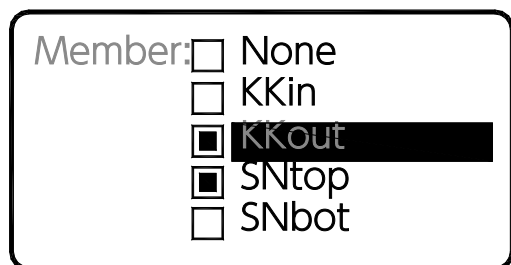
Selectキーは、任意でGroup用としてアサインすることができます。最大16のグループを設定できます。40チャンネルの中から、制限なくグループのメンバーとしてアサインすることができます。

注意：1つのキーに1つのグループのみアサインすることができます。単一のソースのみ、アサインすることもできます。

まず、キーにソースとしてGroupをアサインしてください。次に、画面をスクロールして**Members**を選択してください。



Memberのリストには、接続されたソースから検出した、チャンネルの番号や名前が表示されます。



チャンネルをアサインする：Rotaryコントロールを使用してリストをスクロールし、押すと選択されます。

複数のチャンネルをアサインする：Shiftキーを押したままRotaryコントロールを回します。押す度にグループに入れるか、外すか、選択が切り替わります。

すべてのアサインを消去する：「None」を選択し、OKが確認されます。キー設定の画面に戻るにはMasterキーを押します。

Groupの操作：キーをGroupとしてアサインすると、マスターレベルはスタートポイントとして「0」の位置にデフォルト設定されます。

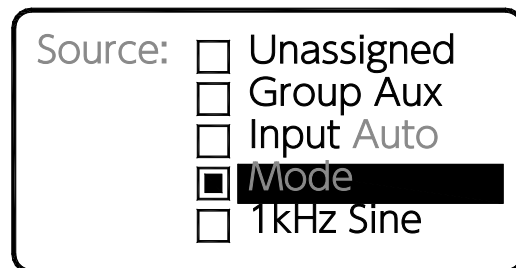
Groupモードを使用して、各メンバーのチャンネルのレベルとパンを選択および調整します。

調整が完了し、使用する演者に渡す際には、一般的にGroup内のソースの調整ではなく、Groupのマスターレベルだけを操作してもらうようにします。

8.8 キーアサインのオートモード

ME-1は、LANケーブル経由のチャンネルソースを自動的にキーにアサインすることができます。1つだけでなく、複数のキーをオートモードにアサインすることができます。

Key Setupの**Source**画面でAuto Modeを選択してください。



オートモードは、ME-1がステレオリンクとチャンネル名を検出できる場合に、最も効果的です。

Auto Mode：

キーは、次の条件を満たしている利用可能なチャンネルを最初に探します。

- まだ他のキーにアサインされていないチャンネル
- Groupのメンバーになっていない。
- Unassignedのソースではない。

ステレオリンクされたソースは単一のキーにアサインされます。

注意：

Autoモードは、ME-1の電源投入時または、LANケーブルが抜かれ、再接続される度にリフレッシュされます。

Autoモードでの作業方法

(A&H対応ミキサーまたは、ME-Uのチャンネルソース)：

1. ステレオリンクとチャンネル名をApply (適用) します。
2. LANケーブルをME-1に接続します。
3. 固定して使いたいキーソースをアサインします。
4. 必要であればGroupをアサインします。
5. Autoモードの他のキーをアサインします。
6. ME-1の電源を再投入してオートアサインを開始します。
7. アサイン状況を確認するためにSelectキーを押します。

16個のキーのすべてか、いくつかを問わずAutoモードを使用することで、ソース設定を迅速に行うことができます。

ME-1のハードリセットおよび工場出荷時の「ME」設定では、16個のキーがすべてAutoモードに設定されます。

8.9 キーネームのアサイン

スクロールしてNameを選択してください。

Source:	17-18 SyntL
Name:	Synth
Members	
: Preset:	StoreRecall

現在のソースと名前がSourceとNameの項目に表示されます。

上図の表示を例とした解説：

17-18 = ステレオリンクされたCH17と18のソース。
SyntL = ソースから受信/検出した名前
Synth = キーに適用した、ユーザー定義の名前

名前を編集する：

Name:	17-18 SyntL
<input checked="" type="checkbox"/> Default	
<input type="checkbox"/> Custom	
Synth	

「Default」を選択すると、A&H対応ミキサーやME-Uのソースから検出されたチャンネル番号または名前を使用します。

「Custom」を選択すると、最大6文字まで、その機体だけの名前を編集してキーに適用します。

Name:	17-18 Synth
<input type="checkbox"/> Default	
<input checked="" type="checkbox"/> Custom	
<input checked="" type="checkbox"/> Nord	_____

Rotaryコントロールを使用して文字の位置までスクロールします。押しして選択し、必要な文字をスクロールして選択します。

現在の名前をクリアするには、「X」を選択します。

利用可能な文字：

0-9、A-Z、a-z、スペースです。

キー設定の画面に戻るにはMasterキーを押します。

8.10 Key preset(キープリセット)モードのアサイン

Presetまでスクロールしてください。

Source:	Group
Name:	Drums 7x
Members:	Recall only
Preset:	

16のSelectキーにはPreset (プリセット) 機能の利用が可能です。各キーは、2つの動作モード (キー・プリセットモード) のいずれかに設定することができます。Rotaryコントロールのノブを押すと、モードが切り替わります。

- Store/Recall : Store (保存)、Recall (呼び出し) とも可能。
- Recall only : Store (保存) はできません。

各キーを順番に押ししてオプションを設定します。メニューから抜けるには、Masterキーを押します。

Presetには以下の情報が保存されます：

- Key Setup : キーのセットアップにあるソースと名前。
- Groupのメンバー。
- 入力のレベル、パン、ミュート。

注意：

プリセットには、以下の情報は保存されません。

キー・プリセットモード、マスターのEQとリミッター、Solo設定、ローカルマイクに関係する設定、Masterのレベル。

スタートポイントをプリセットを保存する方法： Store/Recall用のキーを設定し、Setupメニューから抜けてから「保存したい設定」を構成し、プリセットの名前を付けてStoreします。これは、演者/使用者側のためのプリセットとして保存されます。

多様な状況に対応するために、複数のプリセットを保存できます。

プリセットの保護方法： プリセットに名前を付けてStoreした後、Key Setupに戻り、Presetにスクロールしてキー・プリセットモードを「Recall only」に設定します。

プリセットの無効化： Storeモードに移動し、キーを選択して、Edit画面を使用してプリセットをClear (消去) します。次にKey Setupに戻り、Presetにスクロールしてキー・プリセットモードを「Recall only」に設定します。

プリセットは、空白で保護され、キーに対して無効化されます。

ユーザープリセットの許可： Store/Recall用のキーを用意します。クリアした後に、演者/使用者用に事前の準備として名前を付けておくことができます。

USBデバイスを使用してプリセットデータを転送する方法： このガイドの「7. ME-1のオペレーティング」の項の、主に「7.21 USBデバイスによるプリセットのRecall」「7.23 USBデバイスにプリセットをStore (保存)する」セクションで説明されているStoreおよびRecallモードを使用して、個々のプリセットをコンピューターにアーカイブしたり、他のME-1ミキサーに複製して分配することができます。

8.12 ユニット名を変更する

ME-1には、各ユニットを識別するために、各ユニットに名前を付けることができます。Shiftキーを押しながらGroupキーを押すと、Setupメニューが表示されます。スクロールしてSystem Setupを選択してください。

Config: MATT
Unit: MM4
Mic Mute:
Reset Source List
Firmware: V1.11r1485

ユニット名を設定するには、Unitを選択してください。

Mac: 00:04:C4:00:73:3A
Name: Default
 Custom
00:73:3A

各MEミキサーには、ネットワーク上で識別するための固有のMACアドレスがあります。これは工場設定され、変更することはできません。

ユニット名には2つのオプションがあります：

- Default (デフォルト) = MACアドレスの最後の部分
- Custom (カスタム) = 最大8文字まで入力可能

カスタムのユニット名を設定するには：

Mac: 00:04:C4:00:73:3A
Name: Default
 Custom
 MM4

Rotaryコントロールを使用して名前を編集します。現在の名前を消去するには、Xを選択します。System Setup画面に戻るにはMasterキーを押してください。

注意：

ユニット名はConfigファイルのインポート時には、反映しません。ただし、電源を再投入するとデフォルトの設定にリセットされます。

8.13 ローカルマイクのMuteオプション

内蔵のローカルマイクは、ステージ上の音をミックスに追加したり、他のミュージシャンが近づいて話しかけてきた際に役立ちます。この機能が必要ない場合は、Mic Muteオプションの設定で無効にすることができます。工場出荷時は、Mic Muteの設定は、オフ (Muteしない) になっています。スクロールしてSystem Setupを選択してください。

Config: MATT
Unit: MM4
Mic Mute:
Reset Source List
Firmware: V1.11r1485

Mic Muteを選択します。Rotaryを押して、設定をオンまたは、オフに切り替えます。

8.14 ファームウェアのアップデート

ファームウェアはUSBデバイスを使用してアップデートできます。

最新バージョンの入手方法について

は、ALLEN&HEATHのWebサイト内にて確認してください。アップデートする際には、バージョンを揃えるために、お手持ちのすべてのME-1ユニットをアップデートする事を推奨します。

新しいファームウェアをUSBデバイスにコピーする：

ファームウェアのファイルをダウンロードし、解凍します。そのフォルダをUSBデバイスにコピーします。USBデバイスをコンピュータから「安全に取り外し」をします。

ファームウェアを更新する：

USBデバイスをME-1の背面パネルにあるUSBポートに差し込みます。Shiftキーを押しながらGroupキーを押してSetupメニューを開きます。スクロールしてSystem Setupを選択します。Firmwareページを選択します。

Current: V1.01r11277
On USB: V1.23r12345

To keep settings first
export Config to USB

新しいファームウェアを選択してRotaryを押します。確認画面でアップデートを開始します。ME-1は数秒で新しいファームウェアを読み込んで再起動をします。

9. 参考

9.1 USBデバイスの扱い方

リフォーマットされたUSBデバイスを使用することを推奨します。

USBデバイスをチェックしてください：

デバイスを差し込み、ME-1で認識されていることを確認します。これを行うには、Recallキーを押します。画面には、キーにすでに存在するプリセットのリスト、または、空白の場合に以下のメッセージが表示されるはずです。

Recall:
No USB
Presets+Press
a key

フォルダ：

ME-1に接続すると、USBデバイスの上位階層に自動的にフォルダが作成されます。

ME1CFG = Configファイル用
ME1PST = プリセット用

ファイル：

Configファイルとプリセットファイルは同じ拡張子(.ME1)を持ち、したがってコンピュータとUSBデバイス間でコピーする場合は正しいフォルダに配置する必要があります。

ファイルはサイズでも識別できます：

Configファイル = 72KB
リセットファイル = 4KB

ME-1には内蔵の時計がないため、ファイルにはタイムスタンプがありません。

ファイル名：

ME-1は8.3の短いファイル名（名前8文字と拡張子3文字の規則）を使用します。8文字を超えるファイル名は認識されません。また、小文字は大文字に変換されます。

例) ABCD5678.ME1

したがって、ME-1ミキサーに転送する前にコンピュータでファイル名を変更する場合は、名前が8文字を超えず、下記の使用可能な文字で構成されていることを確認してください。

0-9、A-Z、スペース

9.2 ハードリセット

ハードリセットの実行方法：

Shiftキー + Recallキー + Masterキーを押したまま、ミキサーの電源を入れます。以下の画面が表示されたら、キーを離します。ミキサーをリセットするかどうか選択してください。

OK =実行

Cancel =キャンセル

Reset System?This

will clear all!

OK

Cancel

ME-1のリセット：

- すべてのキーをAutoモードにアサインします。
- プリセットのStoreとRecallにすべてのキーをアサインします。
- すべてのキー名をデフォルトに設定します。
- すべてのレベルをoffにし、パンを中央に設定し、Muteを解除します。
- すべてのプリセットを空白（消去）にします。
- Config名 = DEFAULT
- ユニット名 = MACアドレス由来のデフォルト設定にします。

9.3 自動で名前およびリンクをリセットする

ソースから受信した名前とステレオリンクを消去することができます。

リセット方法：

ShiftキーとGroupキーを同時に押してMenu画面に入ります。

スクロールしてSystem Setupを選択し、さらにReset Source Listを選択します。

Config: MATT
Unit: MM4
Mic Mute:
Reset Source List ←
Firmware: V1.11r1485

注意：

もし、ME-1が名前やリンクデータを持たないソースに直接接続した場合、この機能を使用する事で、以前に受信した名前やステレオリンクを消去することができます。

9.4 仕様

Stereo Out (Phones出力) :

- 出力コネクタ

標準1/4 インチ TRSフォン、および3.5mmステレオミニジャック

- 推奨するヘッドフォン(イヤフォン)の性能

推奨インピーダンス16~600Ω出力300

+300mW (100Ω)

ライン出力時最大+21dBu

Mono Out :

バランスTRS標準フォンジャック、定格0dBu、最大+18dBu

Aux Input :

3.5mmステレオミニジャック※入力

ノミナル-8dBu、最大+10dBu、

インピーダンス>10kΩ

残留出力ノイズ:

-95dBu (最小レベル)

周波数特性 :

+0/-1dB (20Hz~20kHz)

電源アダプター :

100-240V、AC50/60Hz、+12V、DC1.25A

PoE要件 :

ME-1単体で10W ※推奨PoE (802.3af

Type1) 15.4W または、802.3at (Type2) 25.5W

も使用可能。

寸法 (W×D×H) :

227×160×68.5mm

質量 :

約1.1kg (ヘッドフォンハンガー含む)

ALLEN & HEATH

- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563
E-mail: info@hibino-intersound.co.jp <https://www.hibino-intersound.co.jp/>

2023年12月版